

# 第3回 躍進的な事業推進のための設備投資支援事業

最大 1 億円

機械設備を導入して  
生産性・競争力を強化しよう

東京都の  
設備投資助成

デジタル  
推進等  
予算枠  
大幅追加!

## 説明資料 (ゼロエミ枠篇)

公益財団法人 東京都中小企業振興公社

企画管理部 設備支援課

# 初めに

当スライドは、募集要項に記載している内容を  
簡略化した資料です。

申請を検討される場合や申請書を作成する際は

**必ず！** 募集要項を熟読してください。

# 東京都が進めるゼロエミッション

## 「未来を切り拓き・輝きつづける都市を実現する脱炭素戦略」

- ✓ 気候変動を食い止める「緩和策」と、既に起こり始めている影響に備える「適応策」を総合的に展開
- ✓ 資源循環分野を本格的に気候変動対策に位置付け、都外のCO<sub>2</sub>削減にも貢献
- ✓ 省エネ・再エネの拡大策に加え、プラスチックなどの資源循環分野や自動車環境対策など、あらゆる分野の取組を強化

# 当事業における支援策

事業区分に「**ゼロエミッション強化**」を追加し、

**「競争力を強化しながら大きく事業の省エネを実現するために必要となる機械設備を新たに導入する取組」**

に対して助成率を優遇します。

- ※ 生産性の向上を図る計画であることが必要です（募集要項P6, 7）
- ※ 主たる設備が「生産や役務の提供に直接使用するもの」を対象とします

# 助成率・助成限度額 (競争力・ゼロエミッション強化枠)

事業区分	申請者区分	ゼロエミ要件	助成率	助成限度額	助成下限額	
		×	1/2以内	1億円	100万円	
○	2/3以内					
◎※2	3/4以内					
I 競争力・ゼロエミッション強化	中小企業者	A	×	2/3以内		3千万円
		B	○	2/3以内		1億円
			◎※2	3/4以内		
II DX推進	C	2/3以内		1億円		
		III イノベーション	D		2/3以内	
IV 後継者チャレンジ	E				2/3以内	

※1: 常用従業員数が「製造業・その他」の場合は20人以下、「商業・サービス業」の場合は5人以下。

※2: 特に省エネ効果の高い取組については助成率を拡充

# ゼロエミッション枠への申請方法

- 1 申請時に、事業区分のうち「I 競争力・ゼロエミッション強化」区分を選択
- 2 申請者区分「A 中小企業者」または「B 小規模事業者」を選択
- 3 申請に必要な書類として「ゼロエミッション概要書」を作成し受付時に提出

**※ 通常書類審査、面接審査に加えて、提出された「ゼロエミッション概要書」の内容を総合的に判断し、助成率が決定します。**

# 審査・助成率拡充の基準について

## 1 【審査基準】

審査基準自体は、全ての事業区分において同一となります

「(各事業区分ごとの)目的との適合性」「優秀性」「実現性」  
「成長・発展性」「計画の妥当性」

## 2 【助成率の拡充】

「ゼロエミッション概要書」の記載項目について妥当性を確認し、  
特に高い省エネ効果が認められる取組について助成率を拡充します。  
(記載内容に基づく総合的な判断となります)

**※妥当性が認められない場合、拡充は適用されません**

# ゼロエミ要件と概要書の記載内容 に対する適用助成率について

概要書 「1」 公的機関の 認定・指定	概要書 「2、3」 省エネ性能	概要書 「4、5」 取組妥当性	適用助成率 (◎3/4 ○2/3 ×1/2)
有	—	有	◎
		無	○
無	有	有	◎
		無	○
	無	有	×
		無	×



# Q&A 1

Q1 複数の申請者区分(ABCDE)に対して併願申請は出来ますか？

A1 出来ません。いずれかの申請者区分を選択して申請してください。

Q2 設備投資の内容はデジタル化推進やイノベーションにも該当するのですが、競争力強化(ゼロエミ枠)で申請はできますか？

A2 出来ます。競争力強化を図る設備投資内容で、ゼロエミッション概要書を作成すれば申請自体は可能です。

Q3 ゼロエミ枠での申請は、審査基準も優遇されますか？

A3 されません。審査基準は一律です。あくまで採択された場合の助成率が優遇されるだけです。

# Q&A 2

Q4 ゼロエミッション概要書に記載のある「公的機関等の認定や指定」について具体的な機関の指定はありますか？

A4 ありません。

Q5 「公的機関等の認定や指定」について、機械メーカーが作成したカタログ等は該当しますか？

A5 該当しません。

# Q&A 3

Q6 オーダーメイドの機械設備を新設するため、設備導入前後の比較が出来ません。

A6 導入機械を選定する際に検討した他社の提案内容(仕様やスペック等)との比較を記載してください。

(導入機械の中でエネルギーを一番消費する部材・装置について、一世代前との比較、でも可)

Q7 独自の技術を用いなければ導入する設備に求める機能性能を満たさず、世の中に比較できる対象が全く存在しません。

A7 ゼロエミッション概要書のすべての項目が記載できない場合は助成率優遇の対象となりません。